

2024年

1月

南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

第245号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていただける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510



院長 望月 博



あけましておめでとうございます。

街のなかではマスクをする人が少なくなっていますが、病院の中では職員は常にマスクを着用しています。こうした状況は今年も続くと思います。

世の中の変化につれて、病院もいろいろと変わって来ています。自分はいろいろと変化に対応が出来ていない感じを受けながら、仕事や生活をしています。当院では毎月のように精神科の虐待防止研修会を開催し、全職員が参加しています。私たちとしても反省を踏まえ、不祥事を起こさないような（病院としての）余裕を持って、精神科病院として皆様のお役になっていきたいと考えています。今年は希望に満ちた良い年になる様、皆様とともに祈りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



事務部長 山本 善治



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましてはどのようなお正月を迎えられましたでしょうか？私達は過去の実績から未来を予測し、十分な準備をすることがとても大切です。しかし、社会の変化や人口動態の変化によって一層、加速度的に変化していくことが予想され、医療・介護・福祉事業は、十分な準備をする時間が残されていません。不透明な時代だからこそ「行動主義」がより強く求められます。「困っている人を見過ごさない」ホスピタリティ精神を身に付け、相手の変化を感じながらコミュニケーションをとることが必要です。これは患者様や利用者様の満足だけでなく、働く自分自身のやりがいにも大きな影響があると考えます。

2024年は、喜び溢れる話題の多い年になることを願っています。



看護部長 鈴木 恵子



皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。2019年12月に中国で発症した新型コロナウイルスも、昨年5月に感染症5類に移行されました。ようやく以前の社会生活が戻ってきました。今年も引き続き、感染症対策を徹底し、安心して医療を受けて頂けるように努めて参ります。私は昨年4月にご縁あって当院へ赴任して参りました。伊豆へは以前から観光でよく訪れていましたが、この地で生活してみて初めて知った現状がありました。高齢化と人口減少は全国平均より進んでおり、とりわけ医療環境の厳しさは、様々な状況下で感じたことでした。とにかく通院に時間がかかりますし、病気によっては県外の病院へ車で何時間もかけて行かなくてはなりません。そのような厳しい医療環境の中で、当院は賀茂地区における精神科医療を担う医療機関として、これからも地域に密着した「寄り添う医療」を提供して参ります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

EVENT

OT行事で院内バザーを開催しました♪



🎁 バザー会場となった OT 訓練室



このほど2日間に渡って、院内バザーが行われました。対象は入院している患者様やデイケア利用者様、地域生活支援センターふれあいを利用している皆様です。開催にあたっては OT 部（作業療法士）の職員が、日々の業務の合間を縫って寄付品の呼びかけ、会場準備やバザー品の搬入を行ないました。当日も患者様の誘導と会場担当を割り振りながら対応しています。バザー品の多くは衣類や日用品が中心ですが、他にもかばんや靴、帽子などもありました。衣類の寄付では、遠くは横浜市の方から送って頂いたものもあったそうです。

2日間ともデイケアの利用者様が、就労支援の一環で会計や商品の案内係として入ってくれました。本物の店員さんのように呼び込みをする方もいれば、販売を経験した利用者さんは衣類をサッとたたみ直して陳列するなど、それぞれが自分の役割を認識し、自発的に行動する場面が多々ありました。短い期間とはいえサポートする側に回る体験は、今後社会に出て行くうえでの貴重な機会となった方も居たのではないのでしょうか。



🎁 皆さん吟味しながら選んでいます



入院している患者様からは、長いコロナ禍で外出もままならなかった為、自分の目で確かめ、試着して好みの物を購入するということが、うれしくて楽しかったという声がかれました。購入した洋服を早速着用し職員に「どう？」と見せてくれる方もいたほどです。入院患者様にとって、病棟を離れての買い物のひとは、気分転換にもなったことでしょう。2日間の来場者は約 100 人にのびりました。OT 職員の皆様、サポートに入ったデイケアの利用者様もお疲れさまでした。



🎁 引換券1枚につき1点の衣類(日用品等)と交換していました

📄 文：藤田 真咲（精神保健福祉士）



来院の際は、正面玄関脇のグリーンコーナーもぜひご覧になって下さい。

ふれあい南伊豆ホスピタル
☎0558-62-1461



2024年1月発行 Vol.245

【監修】山本 善治

【構成・編集】藤田 真咲

【デザイン】F&Y

【作業協力】作業療法室の職員

支援センターふれあい

利用者の皆さん

ふれあい南伊豆ホスピタル

広報委員会

